

日時

10/30(水)・31(木)
18:00~20:00(両日)

社会インフラ技術の最先端から 防災・減災を考える



参加費
無料

能登半島地震は、積雪寒冷地域が厳冬期において、地震、津波、火災と複合災害による被災となりました。積雪寒冷地に住む私たちとしては、今回の災害をしっかり受けとめ、来るべき災害に向けて一層の備えが必要ではないでしょうか。

今回の公開講座は、災害に対し最新の社会インフラ技術で立ち向かう姿を、研究成果を踏まえ一般の方々にもわかりやすく解説します。また、今回の公開講座は、社会インフラ工学コースとSAFER(地域と歩む防災研究センター)の共同企画で開催します。

【day 1】10/30(水) 第1部 18:00~19:00

橋の地震対策を厳寒の北見でも

講師：社会インフラ工学コース・准教授 齊藤 剛彦

近年の地震被害について地震動の特性と構造物被害を中心に解説し、橋梁における地震対策である免制震デバイスを寒冷地である北見で活用するための研究について紹介します。



【day 1】10/30(水) 第2部 19:00~20:00

冬期防災対策における電動車(EV,PHEV)の活用可能性

講師：社会インフラ工学コース・教授 高橋 清

地震、台風また大雪による災害により停電が多発している中、「災害時の電源確保」は災害対策の重要な課題です。そこで、動力源が電気である電動車は、動く電源としてその活用が注目されています。本講義では厳冬期の避難所への給電等、電動車の活用可能性について紹介します。

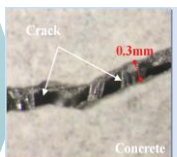


【day 2】10/31(木) 第1部 18:00~19:00

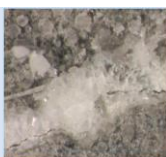
新概念技術によるコンクリート構造物の長寿命化

講師：社会インフラ工学コース・教授 崔 希燮

寒地のコンクリートは、凍害単独または凍害と塩害との複合劣化を受け、ひび割れが発生・進展し、構造物の致命的な損傷に至ります。本講演では、劣化したコンクリートにおいて、現行の補修・補強工法の性能を超える「自己治癒機能を有する新概念補修・補強材」について紹介します。



自己治癒前



自己治癒後

【day 2】10/31(木) 第2部 19:00~20:00

寒冷地河川の冬季災害に関する最新の研究

講師：社会インフラ工学コース・教授 吉川 泰弘
社会インフラ工学コース・准教授 白井 秀和

アイスジャムや河川結氷時の津波遡上に伴う寒冷地河川特有の冬季災害について解説するとともに、最新の研究を通して得られた成果や今後の展開について紹介します。



令和6年度北見工業大学 第5回公開講座

【day 1】令和6年10月30日(水)

第1部 18:00~19:00・第2部 19:00~20:00

日時

【day 2】令和6年10月31日(木)

第1部 18:00~19:00・第2部 19:00~20:00

開催場所

北見工業大学 3号館2階 多目的講義室

申込概要

参加をご希望の方は、[申込フォーム \(QRコード\)](#) よりお申し込みください。QRコードからのお申し込みが難しい場合は、下記の問合せ先にご連絡いただくようお願いいたします。

申込フォーム

こちらのQRコードからお申し込みください。



会場案内



社会インフラ技術の最先端から
防災・減災を考える

道民カレッジ



本講座を受講されますと、令和6年度 道民カレッジの単位として認定されます。

【問合せ先】北見工業大学 研究協力課地域連携係

〒090-8507 北見市公園町165番地

TEL:0157-26-9154 / FAX:0157-26-9155

E-mail:kenkyu09@desk.kitami-it.ac.jp

※電話受付時間：**平日9時~17時**までとなります